

## 2007 年度 小委員会活動成果報告

(2008 年 3 月 31 日作成)

小委員会名	ワークスペース・プロダクティビティ研究小委員会	主 査 名：川瀬貴晴 就任年月：2006 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会	委員長名：井上勝夫
設 置 期 間	2006 年 4 月 ~ 2008 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外の建築に関わる知的生産性研究について調査する。</li> <li>・知的生産性の概念を整理する。</li> <li>・その評価方法について考え方を整理する。</li> <li>・最終年度に成果をまとめて公表する。</li> </ul>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無	
	村上周三 (慶応大学) 加藤信介 (東京大学) 秋元孝之 (芝浦工業大学) 近藤靖史 (武蔵工業大学) 田辺新一 (早稲田大学) 杉浦敏浩 (日建設計) 伊藤一秀 (九州大学) 西原直枝 (早稲田大学) 樋渡 潔 (大成建設)	
設置 WG (WG 名：目的)	無し	
2006 年度予算	0 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1 . 当初の目的をほぼ達成した。
委員会活動の問題点・課題	1 . 特に無し。

- \* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。
- \* 環境本委員会傘下の小委員会においては、上記の活動成果報告書に加えて、以下の自己評価を記入すること。
- \* 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

2007 年度 小委員会活動 自己評価  
(最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	当初の目的をほぼ達成し、小委員会の成果をまとめて報告書の作成を行った。			

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。